

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課:都市局街路交通施設課
担当課長名:青柳 太

事業名	高規格ICアクセス 都市計画道路千穂王子ヶ浜線(千穂1丁目～春日)	事業区分	街路	事業主体	和歌山県
起終点	自:和歌山県新宮市千穂1丁目 至:和歌山県新宮市春日			延長	0.5km
事業概要					
<p>都市計画道路千穂王子ヶ浜線は、国道42号と県道あけぼの広角線を結ぶ、延長約2.3kmの都市計画道路である。当路線は新宮市の東西を連絡するとともに、新宮紀宝道路新宮北ICから市内部への誘導と観光拠点、JR新宮駅へのアクセス、国道42号への連絡を担う道路である。また、当該事業区間は緊急輸送道路(第一次)として災害発生時の救助・救急・消火活動及び避難者への物資輸送の円滑化を図る上で重要な区間である。当該事業区間を整備することにより、国道42号と新宮紀宝道路新宮北IC間のアクセス性の向上や、新宮駅周辺市街地の交通が円滑化するとともに、周辺道路の渋滞緩和及び歩道の整備による歩行者等の安全性を確保するものである。</p>					
R2年度事業化		S17年度都市計画決定		R3年度用地着手	
R5年度工事着手					
全体事業費	約46億円	事業進捗率	約81%	供用済延長	-km
計画交通量	4,700台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	1.1		9.9/44 億円	50/50億円	
	参考 - [2%] - [1%]	4.6 %	(事業費: 9.7/44億円 維持管理費: 0.20/0.20億円 更新費: -/- 億円)	(走行時間短縮便益: 48/48億円 走行経費減少便益: 1.9/1.9 億円 交通事故減少便益: 0.01/0.01億円)	令和6年
	(残事業)	(残事業)	感度分析 (事業全体)	(残事業)	
	5.0	23.2 %	交通量 B/C=1.0~1.2(±10%) 事業費 B/C=1.1~1.2(±10%) 事業期間 B/C=1.0~1.2(±20%)	交通量 B/C=4.5~5.5(±10%) 事業費 B/C=4.6~5.5(±10%) 事業期間 B/C=4.9~5.1(±20%)	
参考 - [2%] - [1%]					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路に指定されており、災害発生時の救助・救急・消火活動及び避難者への物資輸送の円滑化を図る。 ・両側に3.5m の自転車歩行者道を整備することにより、通勤や近隣学校への通学路としての利用者の安全確保を図る。 ・新宮市北部地域における東西軸が形成され、国道42号と新宮紀宝道路新宮北ICへのアクセス性が向上し、新宮駅周辺市街地の交通円滑化に寄与する。 ・周辺道路の渋滞緩和が図られ、快適性の向上が期待される。 					
関係する地方公共団体等の意見					
新宮市から早期整備の要望がある。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
近畿自動車道紀勢線新宮紀宝道路が令和6年12月7日に供用。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率83%、事業進捗率約81%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地補償及び工事の推進を図り、早期供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等					
再生材の利用及びプレキャスト製品の使用等により、コスト縮減に努めている。					
対応方針	事業継続				

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)